

じゃっど (アジアの子供たちを援助する会) JADDO

じゃっど：鹿児島語で「そうだ。賛成。」の意味

設立 1992年12月
 代表 帖佐理子 (ちょうさみちこ)
 事務局長 1994年度 宮脇俊郎
 1995年度 早水澄生
 1996年度 早水澄生
 1997年度 代表 (帖佐理子) が兼任
 1998年度 〃
 1999年度 〃

事務局 〒895-0052 鹿児島県川内市神田町11-20 若松記念病院内
 電話/FAX 0996-27-0193

目的 プライマリーヘルスケアの向上 (予防医学的保健衛生知識の普及)
 活動対象 ラオス国 ビエンチャン市とその近郊の小学校の児童と教師
 活動内容 子供への健康教育 (教材作成、健康診断、駆虫薬投与など)
 教師への教材活用セミナー、学校保健セミナー
 学校の整備 (校舎の補修、トイレ、井戸の設置、机イス黒板の供与)
 文房具供与

財政	事業費	ボ貯金からの配分	
1993年度	636,600	0	
1994年度	2,457,212	1,932,000	78%
1995年度	3,920,955	3,084,000	78%
1996年度	5,047,149	3,671,000	73%
1997年度	1,768,200	810,000	45%
1998年度	3,249,080	1,211,000	37%
1999年度	3,725,000(予算)	1,762,000	47%

事項	内容
1 援助事業名	児童に対する衛生教育 [ラオス]
2 配分金額	金1,211千円
3 事業の実施状況	1) 対象校 1, ナラート小学校 児童数137人 教師 6名 2, サムケ小学校 児童数192人 教師 7名 3, ドンヌアン小学校 児童数198人 教師 8名 4, カムノイ小学校 児童数157人 教師 6名 5, ソッカム小学校 児童数206人 教師 6名 6, ポントーン小学校 児童数210人 教師 8名 7, ドンサバツ小学校 児童数260人 教師 8名 計 1,360人 49名 合計 1,409人 1998年9月、対象校7校を訪問し、以下を行った。 *健康診断：手指の爪、歯牙、心音、呼吸音、眼疾、皮膚疾患をチェック *質問：トイレを使用？食事の前に手洗い？体を洗ったか？ *体重 *身長 以上の結果は学校毎、学年毎の記録簿に記載された。 *ビタミン強化ミルク供与。教師にもミルクを配布。 *児童用衛生教育小冊子 (JADDO作製) を配布。 この時、全ての児童にそれぞれノート3冊とボールペン1本、鉛筆1本ずつ、また当日欠席の児童にも供与物質を配布。文房具は余分に教師に預け、特に貧しい子供の不足分補充に使用。 第2回健康診断

、ホンケ小学校	児童数 175 人	教師 6 名
、サムケ小学校	児童数 178 人	教師 7 名
、ドンヌアン小学校	児童数 193 人	教師 8 名
、カムノイ小学校	児童数 160 人	教師 6 名
、ソッカム小学校	児童数 197 人	教師 6 名
、ポントーン小学校	児童数 218 人	教師 8 名
、ドンサバツ小学校	児童数 272 人	教師 8 名
計	1,393 人	49 人
合計		1,442 人

1998年12月26日、27日に上記対象7校を訪問し、以下を行った。

- *健康診断：手指の爪、歯牙、心音、呼吸音、眼疾、皮膚疾患をチェック
 - *質問：トイレを使用？食事の前に手洗い？体を洗ったか？
 - *体重
 - *身長
- 以上の結果は学校毎、学年毎の記録簿に記載された。
- *ビタミン強化ミルク供与。教師にもミルクを配布。
 - *児童用衛生教育小冊子（JADDO作製）を配布。
 - *全ての児童、教師に駆虫薬（Mebendazol）を投与。
 - *救急薬品を配布。
- 以前からの援助対象校には不足してきた分の補充。

1) 学校保健セミナー

①5年生の担任を対象にしたセミナー

1998年12月9日～11日

- 参加者：サイセタ郡教育委員会 1名
 ヴィエンチャン特別市 1名
 サイセタ郡 1名
 サイセタ郡公立小学校の5年生の担任 50名
 アドバイザー 1名

各校で保健衛生を教えることについて、その重要性和効果

目的：衛生知識を得る

3つの教科（算数、ラオ語、科学）の質の向上
 教材を使い楽しく授業をする方法を知る

②1年生の担任を対象にしたセミナー

1998年12月22日～24日

- 参加者：サイセタ郡教育委員会 1名
 ヴィエンチャン特別市 1名
 サイセタ郡 3名
 サイセタ郡公立小学校38校の1年生の担任 60名
 私立小学校17校の1年生の担任 27名
 アドバイザー 2名

各校で保健衛生を教えることについて、その重要性和効果

目的：衛生知識を得る

3つの教科（算数、ラオ語、科学）の質の向上
 教材を使い楽しく授業をする方法を知る

③じゃつど援助対象校の先生を対象にしたセミナー

1998年12月31日

- 参加者：ドンサバツ小学校10名、郡役所2名
 フオントーン小学校8名、カムノイ小学校10名、
 ホンスパブ小学校7名、ドンヌアン小学校10名
 の計47名

教育委員会3名

講師4名

目的：救急薬品の使用方法

教材の使い方、作り方、
 衛生知識の活用、トイレの清潔保持の方法
 これまでの活動校の状況を見学し、互いに意見を交
 換する。

3) 学校修復工事

ドンヌアン小学校

屋根と教室の仕切り部分だけは父母の力でできていた。
 トイレ、水道の設置、職員室、壁、通路、壁のセメント
 と父母の労働を提供できる時期に合わせ、村の JADDO
 受け入れ組織に対し現金を支払った。材料を購入し村人
 が働くのを基本として修復が行われている。経済危機に
 よる物価の上昇で、始めの見積もりでは材料がそろわな
 い事があった。

4) 視察と話し合い

現地ラオス人医師が JADDO 援助対象校を訪問し教師た
 ちが JADDO 主催の学校保健セミナーを受講後、受け持
 ちの子供たちへ授業を行っているか。救急薬品は足りて
 いるか。正しく使用されているか。校長は学校補修とト
 イレ作りの援助資金を有効に利用しているか。工事の進
 み具合は計画どおりか。できあがったトイレ、校舎は清
 潔に使用されているか。トイレ、水道は子ども達が利用し
 やすいように管理されているかなどを視察。また、質問
 要望を聞く。

5) JADDO 会員視察

援助対象校を訪問、授業参観、校舎の出来具合、机イス
 黒板の完成具合、使用されかたなどを視察。現地スタッ
 フと話し合い。日本人はツアーの中でスタッフとして準
 備し、現地では英語の通訳、写真ビデオ、水質検査など
 を担当。

じゃつど (アジアの子供たちを援助する会)

ラオスで学校保健に関わる援助を行っている民間ボランティア組織です。

子どもたちが元気に学校へ行けるように、あなたもお手伝いくださいま
 せんか。

会員の募集

じゃつどの会員を募集しています。会費は1年間で

2,000円です。広報誌などが送付されます。